

科目名	教育実習Ⅰ（指導）			科目コード	5801
開講学科	教職課程	単位数	1	形態	実習
教員名	龍本那津子				
授業の目的及びテーマ					
本授業は学校現場での教育実習を通して、大学で教職や教科に関して学んだことを確認し、より深め、発展させて教員としての実践力を総合的に高めることを目的とする。 〔到達目標〕 ・教育実習の意義を理解する。 ・教育実習に関する基本的な知識を習得する。 ・学習指導案作成の仕方を習得する。 ・学習指導案に基づき模擬授業を実施できる。 ・教育実習に臨む意欲を高め、教員としてふさわしい態度を身につける。					
授業概要					
事前指導においては、次の２点を行う。 1 教育実習の意義と教員が果たす役割、学習指導、生徒指導、学級経営の方法などについて、講義やディスカッションを通して学ぶ。 2 学習指導案の作成や模擬授業を通して実践感覚を養い、自己の課題を明確にする。 事後指導においては、全体での振り返り、および個人面談による指導助言を行う。 （指導者の実務経験：高等学国語科教諭）					
授業計画					
第 1 回：教育実習の意義について 第 2 回：学校教育を支えるもの 第 3 回：生徒理解－現状と課題 第 4 回：生徒理解－指導の実際 第 5 回：学級経営の意義とその具体 第 6 回：教師の資質と役割 第 7 回：今日的教育課題と教育改革 第 8 回：学力観とその変遷－学力調査とその現状 第 9 回：学習指導の進め方 第 10 回：指導案の作成と授業の実際－模擬授業の実施（第 1 回） 第 11 回：指導案の作成と授業の実際－模擬授業の実施（第 2 回） 第 12 回：指導案の作成と授業の実際－模擬授業の実施（第 3 回） 第 13 回：学習指導における教師のリーダーシップ 第 14 回：教育実習に向けて 第 15 回：まとめと評価					
テキスト	授業時にプリント資料を配布		参考文献	『新編 教育実習の常識』出）蒼丘書林	
評価方法：					
発表・課題および授業への積極的参加度に、実習校の評価を加味して総合的に判断する					